

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年7月19日 NO.16

1学期終業式・・・(夏休みはむじこで！ 9月2日はえがおで！)

4月6日の始業式から、大きな事故もなく、無事に本日の終業式を迎えることができました。これも保護者・地域の皆様方のご協力とご支援があったからこそと、心より感謝しております。どうもありがとうございました。校長として4月に着任以来、子ども達のために一生懸命に無我夢中で職務に専念してきたつもりではありますが、至らぬ部分も多々あったかと思えます。今後は、2学期に向けてしっかりと研修を積み重ね、第七小学校の子ども達の、豊かな心の育成と確かな学力の伸長を目指し、より良い学校経営を進めて参ります。

本日の終業式では、1学期の学習や生活の様子を記した「あゆみ」についてお話ししました。担任の先生からの所見について、全員の分は読めませんが、数名だけですが、成長した事や努力した様子について紹介してもらいました。

この「あゆみ」を各ご家庭でもよく見て頂き、ゆっくりといろいろとお話し合いをして頂きたいと思えます。評定はもちろん、所見などに記された努力の成果を褒め認めると共に、来学期への励ましの言葉をかけてほしいと思えます。どうかよろしくお願いたします。

明日より44日間の長い休みとなりますが、めあてをしっかりと定め、健康に留意し、『むじこ』で安全な夏休みを過ごしてほしいと思えます。そして、9月2日(月)には一段とたくましく成長した『えがお』の子ども達に会いたいと願っております。



第七小わくわくドキドキ農園の野菜大豊作！

太陽の光と天からの恵みの雨と大地の力により、「第七小学校わくわくドキドキ農園」の野菜は大豊作となりました。私自身、まったくの初めての経験で、農業委員の方々からいろいろとご指導を受けながら進めましたが、こんなにもたくさん収穫できたことに、正直驚いております。

子ども達とは、なるべく授業時間を使わずに、休み時間や昼休みなどを利用して、世話や草取り、収穫などを行いました。どの子も皆とても一生懸命に取り組んでくれたことが大変嬉しく思えます。取れたてのキュウリに、味噌をつけて食べた時の子ども達の満足そうな顔。職員室でゆでたトウモロコシにかぶりつき、笑顔弾けた子ども達の顔。同じく職員室の冷蔵庫で冷やしたトマトを食べ「うまっ！」と喜びの声を発する子。そんな子ども達の姿・姿・姿を見ることができ、今回の農業活動を実施して本当によかったと心から思いました。

1・2年が植えたサツマイモは、10月頃になると収穫できるそうです。それまで、またしばらく、明るい太陽と恵みの雨と豊かな大地に「よろしくお願いしまーす！」と伝えておきます。

